## 農山村地域の人口動態と農業集落の変容

## -- 小地域別データを用いた統計分析から --

## 目 次

	ページ
序 章 農山村地域をめぐる問題状況と本資料の課題 橋詰 登	1
1. 農山村地域が抱える問題	1
(1) 過疎化と高齢化の並進	1
(2) 農業集落の機能維持と諸活動の活性化	2
2. 本資料の課題と梗概	2
(1)課題と構成	2
(2)梗概	3
第1章 旧市町村データに基づく農村人口の将来推計 松久 勉	7
1. はじめに	7
(1) 本章の課題	7
(2) 使用したデータと人口の推計方法	
2. 2005-10 年の動向に基づく 2015 年推計人口と実測値の比較	11
(1)農業地域類型別の推計人口と実測値の比較	12
(2) 人口規模別に見た推計人口と実測値の比較	15
(3) 2010-15 年の総人口の増減率と「推計人口と実測値との差」	17
(4)年齢別に見た「推計人口と実測値との差」	19
(5) まとめ	21
3. 2045年までの将来人口の推計結果	22
(1)将来人口の推計方法	22
(2)都市的地域の推計結果	23
(3) 平地農業地域の推計結果	25
(4)中間農業地域の推計結果	27
(5)山間農業地域の推計結果	28
(6) 新市町村区分に基づく推計結果との比較	29
(7) 推計結果のまとめ	31
4. おわりに	32

(補論)		非常に少ない旧市町村の動向と年齢別人口がゼロ		
	の特	敳	松久	勉
1. 人	口の非	常に少ない旧市町村の動向		
2. 年	齢別人	口にゼロのデータがある旧市町村の特徴		
第2章	農業集	落の変容と将来予測に関する統計分析		
	一集	落構造の変化と西暦 2045 年の農業集落の姿―	橋詰	登
1. は	じめに			
2. 農	業集落	数の推移と接続関係		
(1)	農業	集落数の推移と平均規模		
(2)	農業	集落の接続関係と分析対象集落		
3.農	業集落	の縮小・高齢化と集落の機能・活動		
(1)	集落	の小規模化の進行		
(2)	農業	集落の機能と諸活動		
(3)	「農業	担い手」の賦存状況と集落活動		
4.農	業集落	の将来予測		
(1)	) 予測	手法		
(2)	) 予測	結果		
5. 🕏	おわりし	Z		
<b>作</b>	<b>表</b> 1	都道府県別の「存続危惧集落」数等の予測結果		
付	<b>大表 2</b>	2045 年に「存続危惧集落」が存在すると見込まれる 集落数の予測結果		
第3章	日本型	!直接支払への取組と農業集落の活性化		
	一取約	盟範囲の広域化と集落状況の比較から―	楠戸	建
1. は	じめに			
(1)	) 日本	型直接支払の概要		
(2)	) 先行	研究		
(3)	本章	での分析視角		
2. デ	ータ			
(1)	) デー	タセットの作成		
(2)	分析	対象データの抽出		
(3)	) 中山	間直払・多面払の取組状況		

3. 2010年の集落状況と中山間直払の広域化の進展	92
(1) 平均値による比較	92
(2) 比較的小規模な集落における耕地面積及び集落構成員に関する比較	95
4. 2010年の集落状況と多面払の広域化の進展	97
(1) 平均値による比較	97
(2) 小規模集落における耕地面積及び集落構成員に関する比較	100
5. 中山間直払の取組形態別地域資源の保全状況の変化	102
6. おわりに	104
(1) まとめ	104
(2) 今後の課題	105